

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第60号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年4月20日 08時00分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市関門港小倉区日明東岸壁 小倉日明防潮堤灯台から真方位 240° 1,400m付近（概位 北緯33° 54.0′ 東経130° 52.4′）	
事故等調査の経過	平成22年4月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{ビーエム}BM1（パナマ共和国）、1,572トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9374870（IMO番号）、BRIGHT MARINE CO LTD</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 本船 右舷錨のアンカーシャंक折損、バルバスバウの擦過傷 岸壁 岸壁のコンクリート剥離、防舷材損傷</p>	
事故等の経過	本船は、船長ほか14人が乗り組み、平成22年4月20日08時00分ごろ、約1.3ノットの対地速力で着岸予定の関門港日明東岸壁に向けて航行中、右舷錨が岸壁に接触した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：穏やか、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、関門港日明東岸壁に着岸する際、船長が、岸壁に表示される着岸位置を示すN旗を探すのに手間取り、機関を後進にかける時機が遅れ、速力を制御できず、右舷錨が岸壁に接触したものと考えられる。</p> <p>N旗は、船長が期待していたより低く、また、垂れ下がっていて、見にくかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、関門港日明東岸壁に着岸する際、機関を後進にかける時機が遅れたため、速力を制御できず、右舷錨が岸壁に接触したことにより発生したものと考えられる。	